

IN THE UNITED STATES PATENT AND TRADEMARK OFFICE

Re: Application of: Akio IJIMA
Serial No.: To Be Assigned
Filed: Herewith
International
Appl. No.: PCT/JP01/06800 (Filed August 8, 2001)
For: **SYSTEM AND METHOD FOR DELIVERING AND
MANAGING ADVERTISEMENTS**

MAIL STOP: Patent Application
Commissioner for Patents
P.O. Box 1450
Alexandria, VA 22313-1450

October 31, 2003

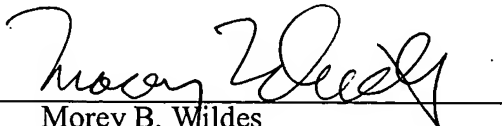
LETTER RE: PRIORITY

Sir:

Applicants hereby claim priority under 35 U.S.C. §119 from Japanese Patent Application No. 2001-135112 filed May 2, 2001, and from International Patent Application No. PCT/JP01/05239 filed June 20, 2001, through International Application No. PCT/JP01/06800, filed August 8, 2001. Certified copies of Japanese Application No. 2001-135112 and International Patent Application No. PCT/JP01/05239 are enclosed herewith.

Respectfully Submitted,

DAVIDSON, DAVIDSON & KAPPEL, LLC

By: 
Morey B. Wildes
Reg. No. 36,968

Davidson, Davidson & Kappel, LLC
485 Seventh Avenue, 14th Floor
New York, New York 10018
(212) 736-1940

日 本 国 特 許 庁
JAPAN PATENT OFFICE

別紙添付の書類に記載されている事項は下記の出願書類に記載されている事項と同一であることを証明する。

This is to certify that the annexed is a true copy of the following application as filed with this Office.

出 願 年 月 日 2 0 0 1 年 5 月 2 日
Date of Application:

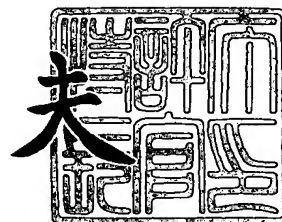
出 願 番 号 特 願 2 0 0 1 - 1 3 5 1 1 2
Application Number:
[ST. 10/C] : [J P 2 0 0 1 - 1 3 5 1 1 2]

出 願 人 株式会社電通
Applicant(s):

2 0 0 3 年 8 月 1 3 日

特許庁長官
Commissioner,
Japan Patent Office

今 井 康 夫



【書類名】 特許願

【整理番号】 Y1I0006

【提出日】 平成13年 5月 2日

【あて先】 特許庁長官殿

【発明者】

 【住所又は居所】 東京都世田谷区野毛 2 - 1 0 - 1 1 - 5 0 7

 【氏名】 飯島 章夫

【特許出願人】

 【識別番号】 000151092

 【氏名又は名称】 株式会社 電通

【代理人】

 【識別番号】 100059959

 【弁理士】

 【氏名又は名称】 中村 稔

【選任した代理人】

 【識別番号】 100067013

 【弁理士】

 【氏名又は名称】 大塚 文昭

【選任した代理人】

 【識別番号】 100082005

 【弁理士】

 【氏名又は名称】 熊倉 禎男

【選任した代理人】

 【識別番号】 100065189

 【弁理士】

 【氏名又は名称】 穴戸 嘉一

【選任した代理人】

【識別番号】 100096194

【弁理士】

【氏名又は名称】 竹内 英人

【選任した代理人】

【識別番号】 100074228

【弁理士】

【氏名又は名称】 今城 俊夫

【選任した代理人】

【識別番号】 100084009

【弁理士】

【氏名又は名称】 小川 信夫

【選任した代理人】

【識別番号】 100082821

【弁理士】

【氏名又は名称】 村社 厚夫

【選任した代理人】

【識別番号】 100086771

【弁理士】

【氏名又は名称】 西島 孝喜

【選任した代理人】

【識別番号】 100084663

【弁理士】

【氏名又は名称】 箱田 篤

【手数料の表示】

【予納台帳番号】 008604

【納付金額】 21,000円

【提出物件の目録】

【物件名】 明細書 1

【物件名】	図面	1
【物件名】	要約書	1
【プルーフの要否】	要	

【書類名】 明細書

【発明の名称】 広告配信管理システム及び方法

【特許請求の範囲】

【請求項 1】 選択された広告配信管理システムから視聴者毎に優先順位に応じた広告を配信する広告配信管理システムであって、

視聴者に広告を配信する広告配信手段と、

前記広告配信手段から優先順位に基づいて視聴者に配信される広告を管理する広告配信管理手段と、

前記広告配信手段から配信される広告の広告デジタル・データを記憶する広告データベースとを備え、

前記広告配信管理手段は、前記配信される広告に関連する事項を確認する広告確認手段と、前記広告データベースに記憶されている前記広告デジタル・データを変更／更新する広告デジタル・データ変更／更新手段とを含むことを特徴とする広告配信管理システム。

【請求項 2】 前記広告確認手段は、

優先順位的に配信準備に入るべき広告の業種、商品または広告主が、挿入される番組または現在アクセスしている配信事業者の規制に適合するかどうかを確認することを特徴とする請求項 1 に記載の広告配信管理システム。

【請求項 3】 優先順位的に配信準備に入るべき広告が挿入される番組または番組タイプが、該広告の広告主による挿入拒絶番組、または挿入拒絶番組タイプであるかどうかを確認することを特徴とする請求項 1 に記載の広告配信管理システム。

【請求項 4】 前記広告確認手段は、

前記優先順位的に配信準備に入るべき広告の前記広告デジタルデータが、現在アクセスしている前記広告配信手段に存在しているかどうかを確認することを特徴とする請求項 1 または 2 に記載の広告配信管理システム。

【請求項 5】 前記広告確認手段は、

前記優先順位的に配信準備に入るべき広告の前記広告デジタルデータが、現在アクセスしている前記広告配信手段に異なるフォームで複数存在している場合に

、どのデータが配信されるべきかを判断することを特徴とする請求項 1～3 のいずれか一項に記載の広告配信管理システム。

【請求項 6】 前記広告確認手段は、

前記優先順位的に配信準備に入るべき広告が、現在アクセスしている配信システムによる配信形態、配信期限、配信地域、配信対象、配信サービスの少なくとも一つ又は二つ以上について、放映許諾を受けている範囲内かどうかを確認することを特徴とする請求項 1～5 のいずれか一項に記載の広告配信管理システム。

【請求項 7】 前記広告確認手段は、

前記優先順位的に配信準備に入るべき広告の前記広告デジタル・データの放映秒数が、挿入予定の広告枠時間内に挿入可能であるかどうかを確認することを特徴とする請求項 1～6 のいずれか一項に記載の広告配信管理システム。

【請求項 8】 前記広告デジタル・データ変更／更新手段は、

請求項 2～請求項 7 に記載の確認時に、前記広告デジタルデータを変更／更新する必要があると判断された場合には、該広告デジタルデータを変更／更新することを特徴とする請求項 1～7 のいずれか一項に記載の広告配信管理システム。

【請求項 9】 前記広告デジタル・データ変更／更新手段は、

前記広告確認手段による配信時点における確認／判断の結果に応じて、配信不可及及び配信可能の場合にそれぞれ所定の係数を割り当て、全ての係数を広告に重み付けすることを特徴とする請求項 1～8 のいずれか一項に記載の広告配信管理システム。

【請求項 10】 選択された広告配信管理システムから視聴者毎に優先順位に応じた広告を配信する広告配信管理方法であって、

視聴者に広告を配信する段階と、

優先順位に基づいて視聴者に配信される広告を管理する段階と、

前記配信される広告の広告デジタル・データを広告データベースに記憶する段階とを具備し、

前記広告を管理する段階は、前記配信される広告に関連する事項を確認する段階と、前記広告データベースに記憶されている前記広告デジタル・データを変更／更新する段階とを含むことを特徴とする広告配信管理方法。

【請求項 1 1】 前記確認する段階は、

優先順位的に配信準備に入るべき広告の業種、商品または広告主が、挿入される番組または現在アクセスしている配信事業者の規制に適合するかどうかを確認する段階を更に具備することを特徴とする請求項 1 0 に記載の広告配信管理方法。

【請求項 1 2】 前記確認する段階は、

前記優先順位的に配信準備に入るべき前記広告が挿入される番組または番組タイプが、該広告の広告主による挿入拒絶番組、または挿入拒絶番組タイプであるかどうかを確認する段階を更に具備することを特徴とする請求項 1 0 または 1 1 に記載の広告配信管理方法。

【請求項 1 3】 前記確認する段階は、

前記優先順位的に配信準備に入るべき広告の前記広告デジタルデータが、現在アクセスしている配信サーバに存在しているかどうかを確認する段階を更に具備することを特徴とする請求項 1 0 から 1 2 のいずれか一項に記載の広告配信管理方法。

【請求項 1 4】 前記確認する段階は、

前記優先順位的に配信準備に入るべき広告の前記広告デジタルデータが、現在アクセスしている配信サーバに異なるフォームで複数存在している場合に、どのデータが配信されるべきかを判断する段階を更に具備することを特徴とする請求項 1 0 ～ 1 3 のいずれか一項に記載の広告配信管理方法。

【請求項 1 5】 前記確認する段階は、

前記優先順位的に配信準備に入るべき広告が、現在アクセスしている配信システムによる配信形態、配信期限、配信地域、配信対象、配信サービスの少なくとも一つ又は二つ以上について、放映許諾を受けている範囲内かどうかを確認する段階を更に具備することを特徴とする請求項 1 0 ～ 1 4 のいずれか一項に記載の広告配信管理方法。

【請求項 1 6】 前記確認する段階は、

前記優先順位的に配信準備に入るべき広告の前記広告デジタルデータの放映秒数が、挿入予定の広告枠時間内に挿入可能であるかどうかを確認する段階を更

に具備することを特徴とする請求項 10～15 のいずれか一項に記載の広告配信管理方法。

【請求項 17】 前記変更／更新する段階は、

請求項 10～請求項 16 に記載の確認時に、前記広告デジタルデータを変更／更新する必要があると判断された場合には、該広告デジタルデータを変更／更新することを特徴とする請求項 10～16 のいずれか一項に記載の広告配信管理方法。

【請求項 18】 前記変更／更新する段階は、

前記確認する段階による配信時点における確認／判断の結果に応じて、配信不可及び配信可能の場合にそれぞれ所定の係数を割り当て、全ての係数を広告に重み付けすることを特徴とする請求項 10～17 のいずれか一項に記載の広告配信管理方法。

【請求項 19】 選択された広告配信管理システムから顧客毎に優先順位に応じた広告を配信する広告配信管理システムであって、

顧客に対する広告の順位決定係数を決定する広告配信順位管理手段と、

前記顧客に対する前記広告の許諾確認係数を決定する広告許諾管理手段と、

前記顧客に対する前記広告を配信する広告配信手段とを備え、

前記広告配信手段は、前記広告配信順位管理手段で決定された前記順位決定係数及び前記広告許諾管理手段で決定された前記許諾確認係数に基づき広告配信スケジュールを決定し、当該決定した広告配信スケジュールに基づき前記顧客に対して広告配信を行うことを特徴とする広告配信管理システム。

【請求項 20】 選択された広告配信管理システムから顧客毎に優先順位に応じた広告を配信する広告配信管理方法であって、

顧客に対する広告の順位決定係数を決定する段階と、

前記顧客に対する前記広告の許諾確認係数を決定する段階と、

前記決定された順位決定係数及び許諾確認係数に基づき広告配信スケジュールを決定する段階と、

前記決定した広告配信スケジュールに基づき前記顧客に対する前記広告の配信を行う段階と

を具備することを特徴とする広告配信管理方法。

【請求項 2 1】 選択された広告配信管理システムから顧客毎に優先順位に応じた広告を配信する広告配信管理システムであって、

広告枠に指定広告が存在するかどうかを検出する指定広告検出手段と、

前記指定広告検出手段の検出結果により前記広告枠に一つ以上の指定広告が存在する場合に該指定広告の優先順位を決定する指定広告優先順位決定手段と、

前記指定広告検出手段の検出結果により前記広告枠に指定広告が存在しない場合にスポット広告の優先順位を決定するスポット広告優先順位決定手段とを備え、

前記指定広告優先順位決定手段により決定された優先順位又は前記スポット広告優先順位決定手段により決定された優先順位に基づき前記顧客に対して広告配信を行うことを特徴とする広告配信管理システム。

【発明の詳細な説明】

【 0 0 0 1 】

【発明の属する技術分野】

本発明は、複数の配信システムを用いて広告を配信及び管理する広告配信管理システム及び方法に関する。

【 0 0 0 2 】

この際、配信とは、視聴者が見ている画面に広告が放映されるように、広告データを送り込むこと全般を指しており、該広告配信管理システムには、家庭にある画面に対して、家庭外にある広告サーバから広告データを送り込む広告配信管理システムも、家庭内にある広告サーバから広告データを送り込む広告配信管理システムも含んでいる。テレビやパソコン等の受像機にハードディスク等の記憶装置が内蔵されていて、該記憶装置から広告データが受像機の再生装置に送り込まれることも配信の中に含むものとする。

【 0 0 0 3 】

【従来の技術】

従来の広告配信管理システムとして、広告を番組から切り離して取り扱い、視聴者毎に各広告に優先順位を付けて、その優先順位により広告を視聴者毎に配信

するように構成された広告配信管理システムが提案されている。

また、今までは、テレビによって視聴する広告、パソコンによって視聴する広告、携帯電話で視聴する広告、その他のメディア画面で視聴する広告は、独立して配信されており、同一視聴者が複数のメディアで広告を見る場合に、それぞれの広告が連動して配信されることがなかった。ここで、メディアとは、映像・音声・画像・テキスト・プログラム等を使った放送・通信・情報サービスの提供手段をいい、前記サービスを提供する画面をメディア画面と呼ぶ。

【0004】

【発明が解決しようとする課題】

通信・ハード・ソフトの発展に伴い、視聴者が接するメディアは、今後ますます増加し、多様化する傾向にある。例えば、通信のブロード化に伴い、パソコンや携帯電話でテレビと同じような動画を見ることが可能であるし、テレビ電話やモニター付き家電商品によって、これらの画面も新たなメディアと成り得る。

複数のメディアによる複数の広告配信管理システムが、独立して広告を提供するより、メディアに関係なく、視聴者毎に広告の重み付けが行われ、広告の配信優先順位が統合的に決められ、視聴者がどのメディアを選択し、アクセスしたとしても、そのアクセスした広告配信管理システムから、前記優先順位を基に決定された広告を配信することができる広告配信管理システム及び方法を提供することをその課題とする。

【0005】

【課題を解決するための手段】

本発明の上記課題は、選択された広告配信管理システムから視聴者毎に優先順位に応じた広告を配信する広告配信管理システムであって、視聴者に広告を配信する広告配信手段と、前記広告配信手段から優先順位に基づいて視聴者に配信される広告を管理する広告配信管理手段と、前記広告配信手段から配信される広告の広告デジタル・データを記憶する広告データベースとを備え、前記広告配信管理手段は、前記配信される広告に関連する事項を確認する広告確認手段と、前記広告データベースに記憶されている前記広告デジタル・データを変更／更新する広告デジタル・データ変更／更新手段とを含む広告配信管理システムによって達

成される。

【0006】

本発明の上記課題は、選択された広告配信管理システムから視聴者毎に優先順位に応じた広告を配信する広告配信管理方法であって、視聴者に広告を配信する段階と、優先順位に基づいて視聴者に配信される広告を管理する段階と、前記配信される広告の広告デジタル・データを広告データベースに記憶する段階とを具備し、前記広告を管理する段階は、前記配信される広告に関連する事項を確認する段階と、前記広告データベースに記憶されている前記広告デジタル・データを変更／更新する段階とを含む広告配信管理方法によって達成される。

【0007】

本発明の上記課題は、選択された広告配信管理システムから顧客毎に優先順位に応じた広告を配信する広告配信管理システムであって、顧客に対する広告の順位決定係数を決定する広告配信順位管理手段と、前記顧客に対する前記広告の許諾確認係数を決定する広告許諾管理手段と、前記顧客に対する前記広告を配信する広告配信手段とを備え、前記広告配信手段は、前記広告配信順位管理手段で決定された前記順位決定係数及び前記広告許諾管理手段で決定された前記許諾確認係数に基づき広告配信スケジュールを決定し、当該決定した広告配信スケジュールに基づき前記顧客に対して広告配信を行う広告配信管理システムによって達成される。

【0008】

本発明の上記課題は、選択された広告配信管理システムから顧客毎に優先順位に応じた広告を配信する広告配信管理方法であって、顧客に対する広告の順位決定係数を決定する段階と、前記顧客に対する前記広告の許諾確認係数を決定する段階と、前記決定された順位決定係数及び許諾確認係数に基づき広告配信スケジュールを決定する段階と、前記決定した広告配信スケジュールに基づき前記顧客に対する前記広告の配信を行う段階とを具備する広告配信管理方法によって達成される。

【0009】

本発明の上記課題は、選択された広告配信管理システムから顧客毎に優先順位

に応じた広告を配信する広告配信管理システムであって、広告枠に指定広告が存在するかどうかを検出する指定広告検出手段と、指定広告検出手段の検出結果により広告枠に一つ以上の指定広告が存在する場合に該指定広告の優先順位を決定する指定広告優先順位決定手段と、指定広告検出手段の検出結果により広告枠に指定広告が存在しない場合にスポット広告の優先順位を決定するスポット広告優先順位決定手段とを備え、指定広告優先順位決定手段により決定された優先順位又はスポット広告優先順位決定手段により決定された優先順位に基づき顧客に対して広告配信を行う広告配信管理システムによって達成される。

【0010】

【発明の実施の形態】

本発明の広告配信管理システムでは、広告確認手段は、優先順位的に配信準備に入るべき広告の業種、商品または広告主が、挿入される番組または現在アクセスしている配信事業者の規制に適合するかどうかを確認するように構成してもよい。

【0011】

本発明の広告配信管理システムでは、優先順位的に配信準備に入るべき広告が挿入される番組または番組タイプが、該広告の広告主による挿入拒絶番組、または挿入拒絶番組タイプであるかどうかを確認するように構成してもよい。

【0012】

本発明の広告配信管理システムでは、広告確認手段は、優先順位的に配信準備に入るべき広告の広告デジタルデータが、現在アクセスしている広告配信手段に存在しているかどうかを確認するように構成してもよい。

【0013】

本発明の広告配信管理システムでは、広告確認手段は、優先順位的に配信準備に入るべき広告の広告デジタルデータが、現在アクセスしている広告配信手段に異なるフォームで複数存在している場合に、どのデータが配信されるべきかを判断するように構成してもよい。

【0014】

本発明の広告配信管理システムでは、広告確認手段は、優先順位的に配信準備

に入るべき広告が、現在アクセスしている配信システムによる配信形態、配信期限、配信地域、配信対象、配信サービスの少なくとも一つ又は二つ以上について、放映許諾を受けている範囲内かどうかを確認するように構成してもよい。

【0015】

本発明の広告配信管理システムでは、広告確認手段は、優先順位的に配信準備に入るべき広告の広告デジタル・データの放映秒数が、挿入予定の広告枠時間内に挿入可能であるかどうかを確認するように構成してもよい。

【0016】

本発明の広告配信管理システムでは、広告デジタル・データ変更／更新手段は、上述した確認時に、広告デジタルデータを変更／更新する必要があると判断された場合には、広告デジタルデータを変更／更新するように構成してもよい。

【0017】

本発明の広告配信管理システムでは、広告デジタル・データ変更／更新手段は、広告確認手段による配信時点における確認／判断の結果に応じて、配信不可及び配信可能の場合にそれぞれ所定の係数を割り当て、全ての係数を広告に重み付けするように構成してもよい。

【0018】

本発明の広告配信管理方法では、確認する段階は、優先順位的に配信準備に入るべき広告の業種、商品または広告主が、挿入される番組または現在アクセスしている配信事業者の規制に適合するかどうかを確認する段階を更に具備してもよい。

【0019】

本発明の広告配信管理方法では、優先順位的に配信準備に入るべき広告が挿入される番組または番組タイプが、該広告の広告主による挿入拒絶番組、または挿入拒絶番組タイプであるかどうかを確認する段階を更に具備してもよい。

【0020】

本発明の広告配信管理方法では、確認する段階は、優先順位的に配信準備に入るべき広告の広告デジタルデータが、現在アクセスしている配信サーバに存在しているかどうかを確認する段階を更に具備してもよい。

【0021】

本発明の広告配信管理方法では、確認する段階は、優先順位的に配信準備に入るべき広告の広告デジタルデータが、現在アクセスしている配信サーバに異なるフォームで複数存在している場合に、どのデータが配信されるべきかを判断する段階を更に具備してもよい。

【0022】

本発明の広告配信管理方法では、確認する段階は、優先順位的に配信準備に入るべき広告が、現在アクセスしている配信システムによる配信形態、配信期限、配信地域、配信対象、配信サービスの少なくとも一つ又は二つ以上について、放映許諾を受けている範囲内かどうかを確認する段階を更に具備してもよい。

【0023】

本発明の広告配信管理方法では、確認する段階は、優先順位的に配信準備に入るべき広告の広告デジタルデータの放映秒数が、挿入予定の広告枠時間内に挿入可能であるかどうかを確認する段階を更に具備してもよい。

【0024】

本発明の広告配信管理方法では、変更／更新する段階は、上述した確認時に、広告デジタルデータを変更／更新する必要があると判断された場合には、該広告デジタルデータを変更／更新するようにしてもよい。

【0025】

本発明の広告配信管理方法では、変更／更新する段階は、確認する段階による配信時点における確認／判断の結果に応じて、配信不可及び配信可能の場合にそれぞれ所定の係数を割り当て、全ての係数を広告に重み付けするようにしてもよい。

【0026】**【実施例】**

以下、添付した図面を参照して、本発明による広告配信管理システム及び方法の実施例を説明する。

【0027】

図1は、本発明による広告配信管理システムの一実施例の構成を示す概略図で

ある。

【0028】

図1の広告配信管理システム10は、視聴者に広告を配信する広告配信サーバ（以下、配信サーバと称する場合もある）SV1～SV3を有する広告配信部11～13と、広告配信部11～13から視聴者に優先順位により配信される広告を管理する広告配信管理部14と、広告配信部11～13から配信される広告の広告デジタル・データを記憶する広告データベース15とを備えている。

【0029】

本発明の主要部を構成する広告配信管理部14は、配信される広告に関して以下に説明する事項を確認する広告確認部16と、広告データベース15に記憶されている広告デジタル・データを変更／更新する広告デジタル・データ変更／更新部17とを含む。

【0030】

次に、図2a及び図2bのフロー図を参照して、本発明の主要部を構成している広告配信管理部14の動作について説明する。

【0031】

広告配信管理部14の広告確認部16は、以下の確認を行う：

（1）優先順位的に配信準備に入るべき広告の「業種」または「商品」または「広告主」が、「挿入される番組」または「現在アクセスしている配信事業者」の規制に適合するかどうか、例えば、番組の提供スポンサーと競合である場合等を確認する（ステップS1）。

（2）優先順位的に配信準備に入るべき広告が挿入される番組または番組タイプが、該広告の広告主による挿入拒絶番組、または挿入拒絶番組タイプであるかどうかを確認する（ステップS2）。

（3）優先順位的に配信準備に入るべき広告の「広告デジタルデータ」が、現在アクセスしている広告配信管理システムの配信サーバ（SV1～SV3のいずれか）に存在しているかどうか確認する（ステップS3）。

（4）（広告データベース15に記憶されている）優先順位的に配信準備に入るべき広告の「広告デジタルデータ」が、現在アクセスしている配信システムの配

信サーバに、異なるフォーム（フォーマット、圧縮率、画素数、セキュリティ機能等）で、複数存在しており、どのデータが配信されるべきか判断する（ステップS4）。

（5）優先順位的に配信準備に入るべき広告が、現在アクセスしている配信システムによる配信形態、配信期限、配信地域、配信対象、配信サービスにおいて、放映許諾を受けている範囲内かどうかを確認する（ステップS5）。

（6）優先順位的に配信準備に入るべき広告の広告デジタル・データの放映秒数が、挿入予定の広告枠時間内にはまるものかどうかを確認する（ステップS6）。

【0032】

上記（4）～（6）で「広告デジタルデータ」を変更/更新する必要があると判断された場合には、広告デジタル・データ変更/更新部17は、「広告デジタルデータ」を変更/更新する（ステップS7）。

【0033】

広告デジタル・データ変更/更新部17は、広告確認部16による配信時点における確認/判断の結果に応じて、配信不可であれば0（ゼロ）を、配信可能であれば、1を係数として割り当て、全ての係数を広告の重みに乗する（ステップS8）。

【0034】

そして、配信サーバ（SV1～SV3のいずれか）は、係数が重み付けされた広告を視聴者に配信する（ステップS9）。

【0035】

上述した実施例の広告配信管理システムによれば、配信時点における確認、判断を行うことが可能になり、視聴者毎に優先順位の付けられた広告リストに基づきかつ視聴者が実際にアクセスしている配信システムに対応した、広告デジタル・データ配信管理を行うことができる。

【0036】

図3は、本発明による広告配信管理システムの別の実施例の構成を示す概略図である。

【0037】

図3の広告配信管理システム100は、顧客に対する広告の順位決定係数を求めるように構成された広告配信順位管理部110、顧客に対する広告の許諾確認係数を求めるように構成された広告許諾管理部120、及び顧客に対する広告の配信スケジュールを決定して広告配信を行うように構成された広告配信部130により構成されている。

【0038】

広告配信順位管理部110は、クライアントデマンド・データベース110-1、履歴データベース110-2、及び顧客データベース110-3を備えている。広告許諾管理部120は、広告属性データベース120-1及びA D-M e m o r i e s（広告放映許諾管理システム）120-2を備えている。広告配信部130は、広告サーバ130-1、指定広告検出装置130-2、及び配信順位指定装置130-3を備えている。

【0039】

次に、図4a～図4kのフロー図を参照して、図3の広告配信管理システム100を構成している各構成部分による処理動作を説明する。

1. 広告配信順位管理部110

広告配信順位管理部110は、顧客Uに対する広告Kの順位決定係数Xを求めるように構成されており、以下に説明するような動作を実行する：

A) クライアント・デマンド・データベース110-1への登録

広告Kを見て欲しいターゲットの属性（例えば、性別、年齢、住所、視聴地域、趣味嗜好等）を登録し（ステップA1）、広告Kを見て欲しいターゲット時間帯を登録し（ステップA2）、広告Kを見てもらう期間を登録し（ステップA3）、上記期間中に見てもらうべき広告Kの総放映希望回数を登録する（ステップA4）。

【0040】**B) 顧客履歴のキャプチャー及び履歴データベース110-2への保存**

全顧客に関わる履歴について、広告Kの総既放映回数を履歴データベース110-2にアップデートし（ステップB1）、顧客Uに個別に関わる履歴について

、予め広告主等により指定されたキーとなる視聴行動（特殊履歴と称する）を行った場合、それを履歴データベース110-2に記録し（ステップB2）、顧客Uによる広告Kの既視聴回数を履歴データベース110-2にアップデートする（ステップB3）。

【0041】

C) 広告に関するマッチングによる項目毎の係数の決定

ユーザIDに基づき、顧客データベース110-3に登録されたユーザ属性と、クライアント・デマンド・データベース110-1に登録されたターゲット属性との一致度によって係数 α を決定し（ステップC1）、現行時間に基づいた予測CM視聴時間帯とターゲット時間帯との一致度によって係数 β を決定し（ステップC2）、（総放映希望回数－総既放映回数）／残放映期間により、広告Kの総残放映回数／日を導いて、それに基づき、係数 γ を決定し（ステップC3）、キーとなる特殊履歴を行っているか否かにより、係数 θ を決定し（ステップC4）、顧客Uにとっての広告Kの最大フリークエンシー規制回数 e と、顧客Uへの広告K既放映回数 f とを比較し、 $e > f$ ならば1になるように、また、 $e \leq f$ ならば0になるように、係数を決定する（ステップC5）。

【0042】

D) 顧客の広告に関する順位決定係数の計算

上記ステップ（C1）～（C5）で導き出した係数を用いて、ある一定の演算（例えば、本実施例では乗算）を実行することにより、順位決定係数 $X(K)$ を決定し（ステップD1）、ユーザがログインした段階で全ての広告について順位決定係数 $X(K)$ を計算する（ステップD2）と共に、順位決定係数 $X(K)$ の値を一定時間おきに再計算して更新する（ステップD3）。

2. 広告許諾管理部120

広告許諾管理部120は、顧客Uに対する広告Kの許諾確認係数 Y を求めるように構成されており、以下の動作を実行する：

E) 広告属性データベース120-1への登録

広告ID番号を登録し（ステップE1）、広告対象商品名を登録し（ステップE2）、広告対象商品の業種を登録し（ステップE3）、広告主名を登録し（ス

テップE 4)、広告の属性に特殊内容がある場合には、その特殊内容を登録する(ステップE 5)。

【0043】

F) 広告放映許諾情報管理システム“Ad-Memories”120-2への登録

広告配信許諾に関する形態情報を登録し(ステップF 1)、広告放映許諾に関する期限情報を登録し(ステップF 2)、広告放映許諾に関する地域情報を登録し(ステップF 3)、広告配信許諾に関する対象情報を登録し(ステップF 4)、広告放映許諾に関するサービス情報を登録し(ステップF 5)、広告放映許諾に関するデータ・フォーム情報を登録する(ステップF 6)。

【0044】

G) 広告に関するマッチングによる項目毎の係数の決定

事業者による規制データにマッチした広告対象商品名、広告対象商品業種、広告主名、特殊内容が存在するかどうかを確認し、一つでも存在する場合には係数0を割り当て、まったく存在しない場合には係数1を割り当てる(ステップG 1)。番組による規制データにマッチした広告対象商品名、広告対象商品業種、広告主名、特殊内容が存在するかどうかを確認し、一つでも存在する場合には係数0を割り当て、まったく存在しない場合には係数1を割り当てる(ステップG 2)。広告が挿入される予定になっている番組が、広告に付与されている挿入拒絶番組あるいは挿入拒絶番組タイプに当てはまるかどうかを確認し、一つでも当てはまる要素がある場合には、係数0を割り当て、まったく当てはまる要素がない場合には、係数1を割り当てる(ステップG 2. 5)。顧客Uがリクエストした広告配信の形態が“Ad-Memories”120-2で許諾されているかどうかを確認し、許諾されていない場合には係数0を割り当て、許諾されている場合には係数1を割り当てる(ステップG 3)。顧客Uが広告を視聴する日時が“Ad-Memories”120-2で許諾された期間内であるかどうかを確認し、許諾されていない場合には係数0を割り当て、許諾されている場合には係数1を割り当てる(ステップG 4)。顧客Uが広告を視聴する地域が“Ad-Memories”120-2で許諾された地域であるかどうかを確認し、許諾され

ていない場合には係数0を割り当て、許諾されている場合には係数1を割り当てる（ステップG5）。顧客Uが放映対象として“Ad-Memories”120-2で許諾された対象者であるかどうかを確認し、許諾されていない場合には係数0を割り当て、許諾されている場合には係数1を割り当てる（ステップG6）。顧客Uが広告を視聴するであろう放映サービスが“Ad-Memories”120-2で許諾された放映サービスであるかどうかを確認し、許諾されていない場合には係数0を割り当て、許諾されている場合には係数1を割り当てる（ステップG7）。広告放映のために配信された広告Kのデータ・フォームが“Ad-Memories”120-2で許諾されたデータ・フォームであるかどうかを確認し、許諾されていない場合には係数0を割り当て、許諾されている場合には係数1を割り当てる（ステップTG8）。

【0045】

H) 許諾確認係数の決定

上記ステップ（G1）～（G8）で導き出した係数を用いて、ある一定の演算（例えば、本実施例では乗算）を実行することにより、許諾確認係数Y（K）を決定し（ステップH1）、許諾確認係数Y（K）は、事前に計算できるものについては事前に計算する（ステップH2）。また、顧客Uのリクエスト時に計算しなければならないものについては追加計算を行って広告配信前に許諾確認係数Y（K）の値を決定する（ステップH3）。

3. 広告配信部130

広告配信部130は、顧客Uに対する広告の配信スケジュールを決定して広告配信を行うように構成されており、以下の動作を実行する：

I) 配信優先順位の決定

広告サーバ130-1に蓄積されている全ての広告について順位決定係数X（K）＊許諾確認係数Y（K）を計算し、得られた値が大きい広告から配信優先順位を決定する（ステップI）。

【0046】

J) 配信スケジュールの決定

上記（I）で決定された配信優先順位に基づき、顧客が視聴しようとする番組

への広告挿入タイミング及び当該広告挿入タイミングに割り当てられた時間内での広告配信順序を決定する（ステップ J 1）。

【0047】

配信予定の広告の放映秒数 f が予定された広告挿入タイミングでの割り当て残り秒数 g を超える（ $f > g$ ）場合には、係数 0 が掛けられて、次の順番にまわされる（即ち、次の広告挿入タイミングの 1 番目になる）（ステップ J 2）。

【0048】

また、配信予定の広告の放映秒数 f が予定された広告挿入タイミングでの割り当て残り秒数 g に等しいかまたは小さい（ $f \leq g$ ）場合には、係数 1 が掛けられて、その配信スケジュールの指示が配信順位指示装置 130-3 で決定されて CMサーバ 130-1 に出力される（ステップ J 3）。

【0049】

K) 広告データの配信

CMサーバ 130-1 は、番組配信時に、上記（J）で配信順位指示装置 130-3 により決定された配信順位（配信スケジュール）に基づき、その広告挿入タイミングで広告を配信する（ステップ K 1）。

指定広告による広告配信

次に、図 5 及び図 7 を参照して、配信すべき広告が指定される場合について説明する。

広告が指定される場合の例としては、以下のものが考えられる：

① コンテンツによる広告指定がある場合

例えば、コンテンツ・ホルダー等によるコンテンツ毎の広告販売がなされた場合等がある。

【0050】

② 広告枠による広告指定がある場合

例えば、コンテンツの中の複数の広告枠の 1 つまたは 2 つ以上の広告枠が特別に販売された場合等がある。

【0051】

③ 視聴者による広告指定がある場合

例えば、視聴者がコンテンツを見るにあたって、広告を指定できるようなサービスがあるような場合等である。

【 0 0 5 2 】

次に、指定広告による配信順位付けについて説明する。

【 0 0 5 3 】

(a) 指定された広告群は、全て優先順位が一気に上がるような重み付けが、指定広告係数により付与される。

【 0 0 5 4 】

(b) 指定された広告群の中で、ターゲット、時間帯、特殊履歴等による、異なる重み付けが更に行われることにより、指定された広告群内での、広告差換えが可能になる。

【 0 0 5 5 】

(c) また、指定された広告群の中の各広告は、指定内での最大フリークエンシーが決められており、それを越えた配信が行われることはない。

【 0 0 5 6 】

(d) コンテンツによる広告指定がある場合には、そのコンテンツの広告枠数に対し、指定広告が全て最大フリークエンシーまで流れ、次に流すものがなくなったときには、残りの広告枠は、スポット広告による配信順位決定フローに従って広告配信される。

【 0 0 5 7 】

どのメディアにアクセスしても、統合的に決められた優先順位に従って、広告が配信されることによって、各広告の該視聴者に割り振られた視聴数を効率よく達成できる。

【 0 0 5 8 】

ただし、視聴者が現在アクセスしているメディアや、そのメディアによって提供されている番組コンテンツ、あるいはサービスによって、優先的に配信すべき広告が指定されており、その指定された広告の中で、さらに視聴者によって、広告を差し替えて配信する事が必要な場合がある。

【0059】

従って、広告枠が存在する番組・コンテンツあるいはサービスにアクセスした場合は、まず、広告指定があるかないかを、指定広告検出装置130-2によって検出し、指定広告がある場合には、指定されたIDを持つ広告群に指定広告係数として、特別に優先される係数を与えた上で、他の条件を加味して優先順位を決定する。

【0060】

指定広告がない場合は、前記統合的に決められた優先順位を基にスポット広告として、配信準備が行われる。

【0061】

指定広告の有無に関わらず、優先順位に従って配信が予定されている広告でも、以下のような事を広告確認手段によって確認した上で、配信準備に入る事が必要な場合がある。

【0062】

(1) 優先順位的に配信準備に入るべき広告の業種、商品または広告主が、挿入される番組、サービスまたは、現在アクセスしている配信事業者の規制に適合するかどうかを確認する必要がある。

【0063】

(2) 前記優先順位的に配信準備に入るべき広告の広告主が、挿入される番組、サービスまたは、現在アクセスしている配信事業者での放映を規制しているかどうかを確認する必要がある。

【0064】

(3) 前記優先順位的に配信準備に入るべき広告の前記広告デジタル・データが、現在アクセスしている前記広告配信手段に適したデータとして存在しているかどうかを確認する必要がある。

【0065】

(4) 前記優先順位的に配信準備に入るべき広告の前記広告デジタル・データが現在アクセスしている前記広告配信手段の中に異なるフォームで複数存在している場合に、どのデータが配信されるべきかを判断する必要がある。

【 0 0 6 6 】

(5) 前記優先順位的に配信準備に入るべき広告が現在アクセスしている配信システムによる配信形態、配信期限、配信地域、配信対象・サービスの少なくとも一つ又は二つ以上について、放映許諾を受けている範囲内かどうかを確認する必要がある。

【 0 0 6 7 】

(6) 前記優先順位的に配信準備に入るべき広告の前記広告デジタル・データの放映秒数が、挿入予定の広告枠時間内に挿入可能であるかどうかを確認する必要がある。

【 0 0 6 8 】

広告枠が存在する番組・コンテンツあるいはサービスにアクセスした時点で、指定広告検出装置 1 3 0 - 2 によって、広告指定があるかないかを検出し、指定広告がある場合と指定広告がない場合のどちらのプログラムに従って、優先順位を算出すべきかを指示する。

【 0 0 6 9 】

視聴者が現在アクセスしているメディアや、そのメディアによって提供されている番組コンテンツ、あるいはサービスによって、優先的に配信すべき広告が指定されており、その指定された広告の中で、さらに視聴者によって、広告を差し替えて配信する順位を決定する例：

例

ある番組 A に、自動車会社 T がスポンサードしており、指定広告として、T 社の自動車 CM が 3 車種分（スポーツカータイプ、高級車タイプ、普及車タイプ）、指定されたとする。

【 0 0 7 0 】

この際、該番組 A を見ている視聴者に対し、T 社から、次のようなオーダーを受けたとする：「スポーツカータイプは 3 0 才代以下の視聴者にのみ 2 回見せ、高級車タイプは 4 0 才代以上の視聴者にのみ 2 回見せ、普及車タイプは全世代に 1 回見せるような割振りで、CM を見せたい。」

【 0 0 7 1 】

まず、「指定広告による配信順位決定」のプログラムで、放映優先係数Xが算出される。

【0 0 7 2】

指定された3種のCMは、番組Aの広告枠で優先的に配信されるように、指定広告係数100が割り当てられる。

【0 0 7 3】

スポーツカータイプは、30才代以下の視聴者にターゲット係数2、40才代以上の視聴者にターゲット係数0を割り振る。

【0 0 7 4】

高級車タイプは、30才代以下の視聴者にターゲット係数0、40才以上の視聴者にターゲット係数2を割り振る。

【0 0 7 5】

普及車タイプは、全世代の視聴者に対し、ターゲット係数1を割り振る。

【0 0 7 6】

各CMの各視聴者に対する重みは、指定広告係数×ターゲット係数で、表1に示すように算出される：

【0 0 7 7】

【表1】

	30代以下視聴者の重み	40代以上視聴者の重み	最大フリークエンシー
スポーツカータイプ	200	0	2回
高級車タイプ	0	200	2回
普及車タイプ	100	100	1回

優先順位を決める為の放映優先係数の算出は、15分ごとに、新たに行なわれる。これにより、30才代以下の視聴者は、スポーツカータイプのCMを15分おきに2回、普及車タイプのCMを1回視聴し、残りの広告枠は後述する「スポット広告による配信順位決定」のプログラムによって決められたCMを視聴する。

【0 0 7 8】

40才代以上の視聴者は、高級車タイプのCMを15分おきに2回、普及車タイプのCMを1回視聴し、残りの広告枠は、後述する「スポット広告による配信順位決定」のプログラムによって決められたCMを視聴する。

スポット広告による広告配信

次に、図6及び図7を参照して、スポット広告による広告配信について説明する。

【0079】

視聴者が現在アクセスしているメディアや、そのメディアによって提供されている番組コンテンツ、あるいはサービスによって、優先的に配信すべき広告が指定されておらず、統合的に決められた優先順位を基に、広告確認手段による確認を行った上で、配信順位を決定する例：

(1) の例

例えば視聴者 α が自動車会社T社の提供する番組を視聴時に、広告枠が存在し、優先順位上位のH社の自動車広告が配信準備に入る為、広告確認手段により、チェックを受けたところ、前記番組により、自動車という業種の広告はT社以外のものは放映しないという規制データと前記H社の自動車広告の業種コードとのマッチングにより、係数0が割り当てられ、放映確認係数Yが0になり、前記H社の自動車広告は、配信を保留されることになる。

【0080】

前記H社の自動車広告は、放映優先係数Xが上位のまま保たれるため、視聴者 α の視聴番組が前記T社の提供する番組から、他の番組に変わり、番組規制による係数が1になり、他の確認事項とも合わせて、放映確認係数Yが1になる時点で、配信されることになる。

【0081】

(2) の例

例えば視聴者 α が、未成年者視聴規制のあるような残虐なシーンのある番組を視聴時に、広告枠が存在し、優先順位上位の食品メーカーの広告Iが配信準備に入る為、広告確認手段により、チェックを受けたところ、前記広告Iによる、被

挿入規制番組の種別と前記視聴中の番組の種別コードとのマッチングにより、係数0が割り当てられ、放映確認係数Yが0になることにより、配信は保留されることになる。

【0082】

前記広告Iは、放映優先係数Xが上位のまま保たれるため、視聴番組が他の番組に変わり、前記広告Iによる被挿入番組規制とのマッチングにより、係数1となり、他の確認事項とも合わせて、放映確認係数Yが1になる時点で、配信されることになる。

【0083】

(3) の例

例えば消費者 α が、家庭のTV受像機でデジタル・ハイビジョン番組を視聴中に、広告枠が存在し、優先順位上位の広告Jが配信準備に入る為、広告確認手段により、チェックを受けたところ、前記TV受信機に広告を配信する広告配信管理システムの配信サーバに、前記広告Jのデジタル・データとして、ハイビジョン番組内で放映できるものが存在していないため、係数0が割り当てられ、放映確認係数Yが0になることにより、配信は保留されることになる。

【0084】

前記広告Jは、放映優先係数Xが上位のまま保たれるため、視聴者 α が別のメディアで番組を見ることになり（同じTV受像機であっても、違うフォーマットによるデータ配信が行なわれる場合には、別のメディアと認識するものとする）、前記新たにアクセスしたメディアの広告配信管理システムに適応した、前記広告Jのデジタル・データが存在し、ここでの係数が1となり、他の確認事項とも合わせて、放映確認係数Yが1になる時点で、配信されることになる。

【0085】

(4) の例

例えば視聴者 α が家庭のパソコンで動画番組を視聴中に、広告枠が存在し、優先順位上位の広告Kが、配信準備に入るために、広告確認手段によりチェックを受けたところ、前記パソコンに広告を配信する配信システムの配信サーバには、前記広告Kの、データ・サイズの違う（圧縮率、または画面サイズが違う）デジ

タル・データが、複数存在している場合には、前記パソコンに繋がっている回線の通信状況や、前記パソコンの画面サイズによって、最適な前記広告Kのデジタル・データ K-1 が選抜され、係数 1 を与えられ、他の確認事項とも合わせて、放映確認係数 Y が 1 になれば、配信準備に入ることになる。

【0086】

前記広告Kの、前記K-1 以外のデジタル・データは、係数 0 を与えられ、配信準備からはずされる。

【0087】

前記K-1 が視聴者 α に配信されると、前記広告Kの放映実績は、カウントされ、前記広告Kの放映優先係数は、新たな計算によって算出されることになる。

【0088】

(5) の例

例えば視聴者 α が、あるメディアにアクセス中に、広告枠が存在し、優先順位上位の広告Lが配信準備に入るために、広告確認手段によりチェックを受けたところ、前記広告Lのデジタル・データそれぞれに対応した、放映許諾情報を広告放映許諾情報管理システム (=A D - M e m o r i e s) より呼出し、前記広告Lが配信準備に入ろうとしている広告配信管理システムの配信形態、放映期間、放映地域・場所、配信対象・サービスの各条件が、前記広告Lの放映許諾情報の範囲内であるかどうかを確認し、全て範囲内であれば係数 1 を、1 つ又は2つ以上の条件で範囲外になるものがあれば係数 0 が割り当てられる。

【0089】

前記係数 1 の場合、他の確認事項とも合わせて、放映確認係数 Y が 1 になれば、広告Lは配信準備に入ることになる。

【0090】

配信形態とは、例えばストリーミングによる配信なのか、ダウンロードによる配信なのか、その場合のセキュリティ・システム (コピー・プロテクト、ライフ・コントロール等) はどうなっているかといったものや、ユーザーが広告を自らの意志で呼び出す P U L L 型配信なのか、広告がユーザーの意志に関係なく放映される P U S H 型配信なのか等を言う。

【0091】

放映期間とは、出演者や音楽制作者といった広告に関する権利者との契約や、広告内容に照らし合わせ、広告を配信していい期限（最も厳しい条件に準拠）を設定したものを言う。

【0092】

放映地域・場所とは、出演者や音楽制作者といった広告に関する権利者との契約や、広告内容に照らし合わせ、視聴者に広告を見てもらってもよい地域・場所（最も厳しい条件に準拠）を設定したものを言う。

【0093】

特に、携帯端末や自動車端末に対する広告配信においては、前記携帯端末や前記自動車端末の現在位置によって、広告の放映許諾範囲内の場所かどうか、ダイナミックに変化する。

【0094】

配信対象・サービスとは、視聴者に広告を見てもらう広告枠が設定されている対象が、テレビ、パソコン、携帯端末、自動車端末、TV電話、モニター付き家電等の「こういったハード機器をアクセス端末にしたものか?」、あるいは、番組オンデマンド放送、番組リアルタイム放送、通信サービス、情報提供サービス等の「どんなサービスにおいて設定されたものか?」あるいは、画質、画面サイズ、広告の出方等、「どんな状態で広告が配信されるものか?」、以上をフレキシブルに組み合わせたものを言う。

【0095】**(6) の例**

例えば視聴者 α が、あるメディアにアクセス中に広告枠が存在し、優先順位上位の広告Mが配信準備に入るため、広告確認手段により、チェックを受けたところ、前記広告Mは、30秒の放映時間があるが、前記被挿入予定の広告枠が残り15秒しかないため、係数0が割り当てられ、放映確認係数Yが0になり、前記広告Mは、配信を保留されることになる。

【0096】

放映優先順位が広告Mの次順位である広告Nは、視聴時間が15秒の為、広告

確認手段による放映時間チェックで、係数1が割り当てられ、他の確認事項とも合わせて、放映確認係数Yが1になれば、配信準備に入ることになる。

【0097】

前記広告Mは、放映優先係数Xが上位に保たれたままの為、次機会の広告枠に30秒以上の確保されていれば、放映時間チェックで、係数が1になる為、他の確認事項とも合わせて、放映確認係数Yが1になれば、配信準備に入ることになる。

【0098】

【発明の効果】

上述した広告配信管理システム及び方法よれば、視聴者が複数の広告配信管理システムを利用する場合でも、視聴者により選択された広告配信管理システムから視聴者毎に優先順位に応じた広告を効率的に配信することができる。

【図面の簡単な説明】

【図1】 本発明による広告配信管理システムの一実施例の構成を示す概略ブロック図である。

【図2a】 図1の広告配信管理システムの処理動作を説明するためのフロー図である。

【図2b】 図1の広告配信管理システムの処理動作を説明するためのフロー図である。

【図3】 本発明による広告配信管理システムの別の実施例の構成を示す概略ブロック図である。

【図4a】 図3の広告配信管理システムの処理動作を説明するためのフロー図である。

【図4b】 図3の広告配信管理システムの処理動作を説明するためのフロー図である。

【図4c】 図3の広告配信管理システムの処理動作を説明するためのフロー図である。

【図4d】 図3の広告配信管理システムの処理動作を説明するためのフロー図である。

【図 4 e】 図 3 の広告配信管理システムの処理動作を説明するためのフロー図である。

【図 4 f】 図 3 の広告配信管理システムの処理動作を説明するためのフロー図である。

【図 4 g】 図 3 の広告配信管理システムの処理動作を説明するためのフロー図である。

【図 4 g-2】 図 3 の広告配信管理システムの処理動作を説明するためのフロー図である。

【図 4 h】 図 3 の広告配信管理システムの処理動作を説明するためのフロー図である。

【図 4 i】 図 3 の広告配信管理システムの処理動作を説明するためのフロー図である。

【図 4 j】 図 3 の広告配信管理システムの処理動作を説明するためのフロー図である。

【図 4 k】 図 3 の広告配信管理システムの処理動作を説明するためのフロー図である。

【図 5】 図 3 の広告配信管理システムによる指定広告の広告配信を説明するための構成図である。

【図 6】 図 3 の広告配信管理システムによるスポット広告の広告配信を説明するための構成図である。

【図 7】 図 3 の広告配信管理システムによる指定広告及びスポット広告の広告配信処理を説明するための概略フロー図である。

【符号の説明】

10 広告配信管理システム

11～13 広告配信部

14 広告配信管理部

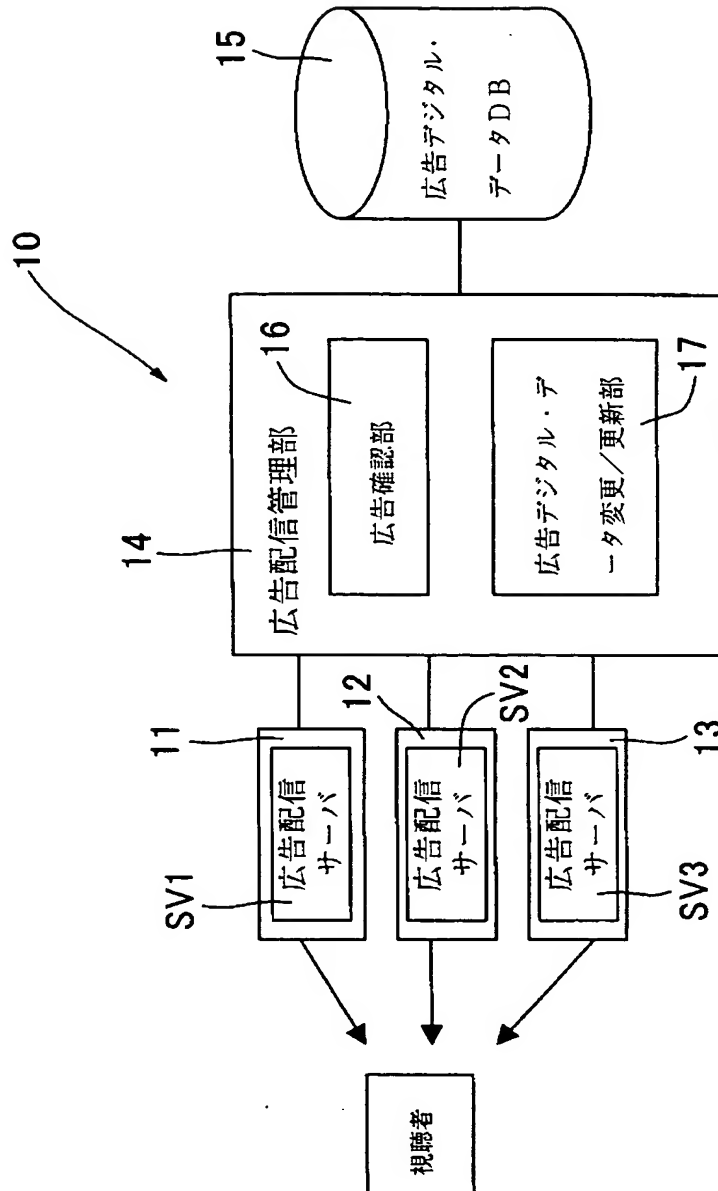
15 広告データベース

SV1～SV3 広告配信サーバ

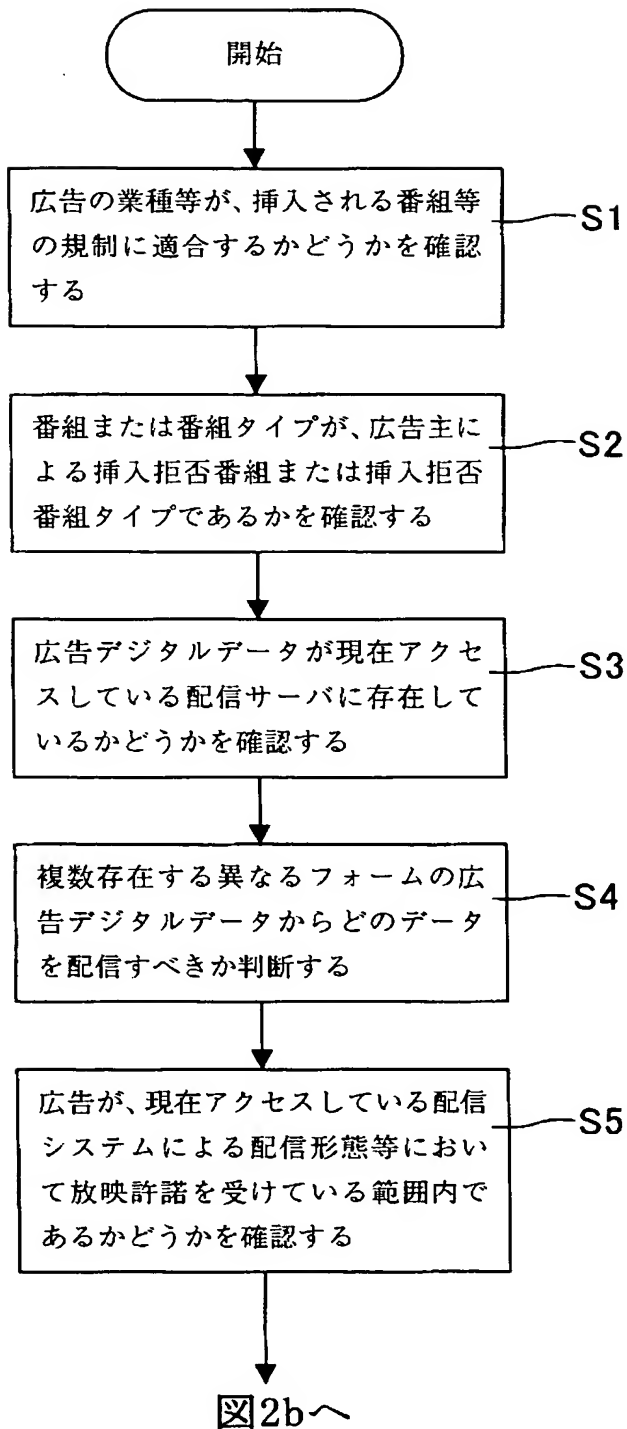
【書類名】

図面

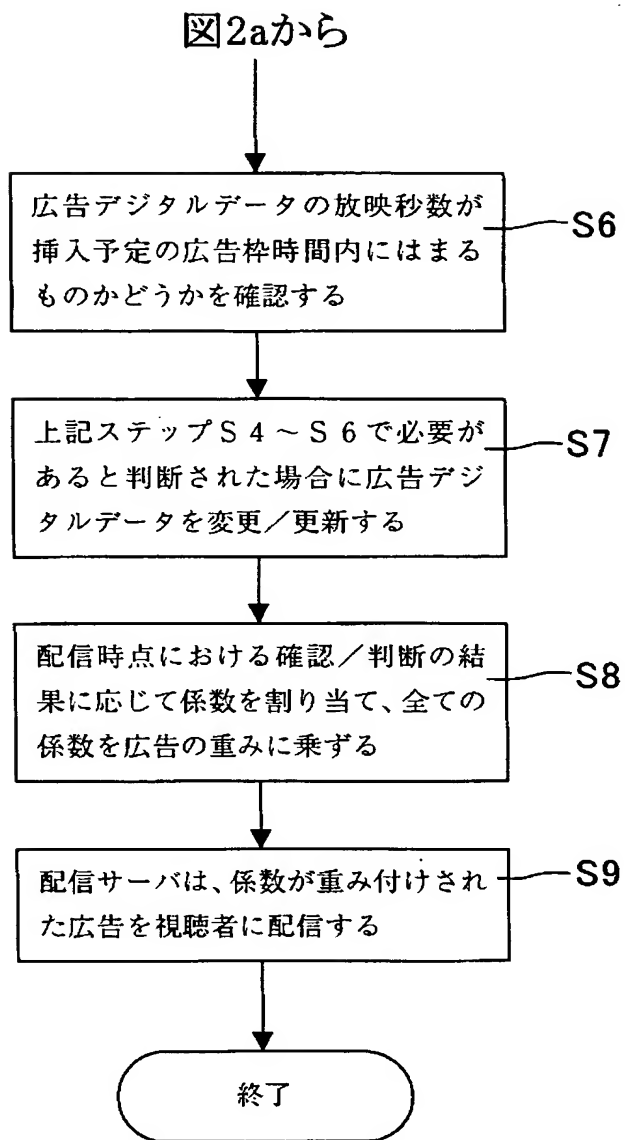
【図 1】



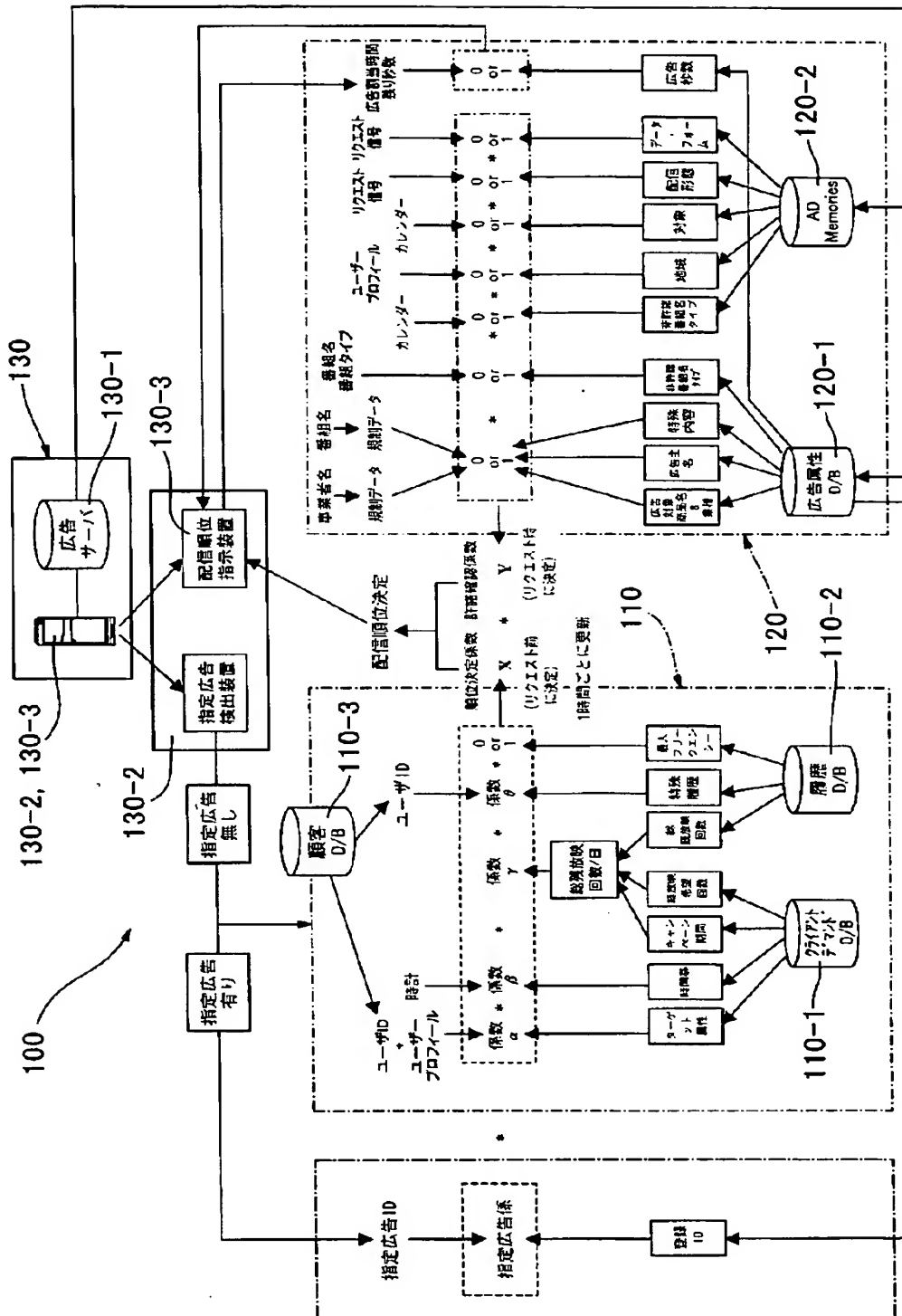
【図 2 a】



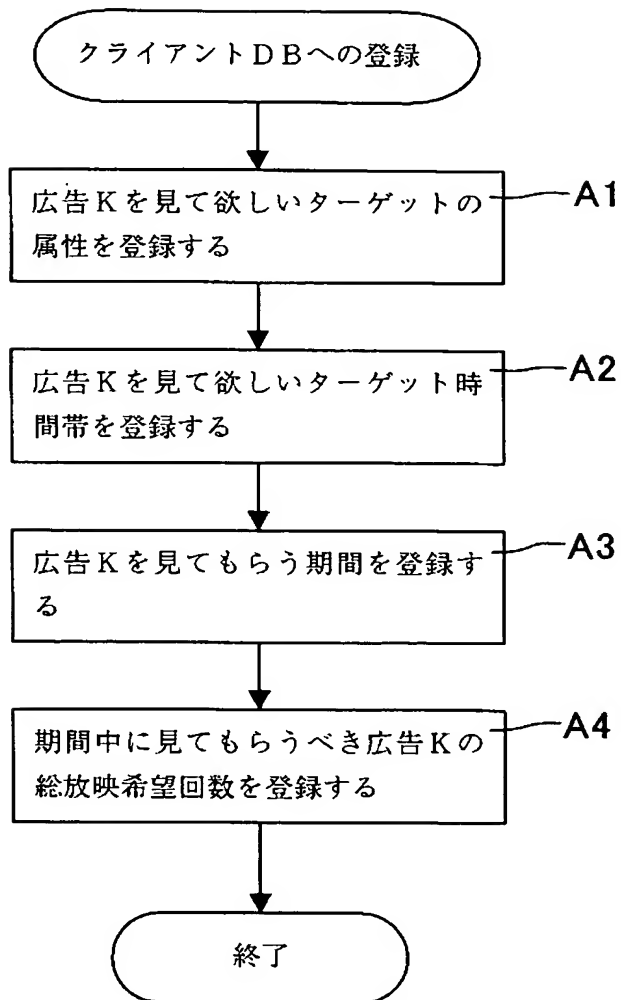
【図 2 b】



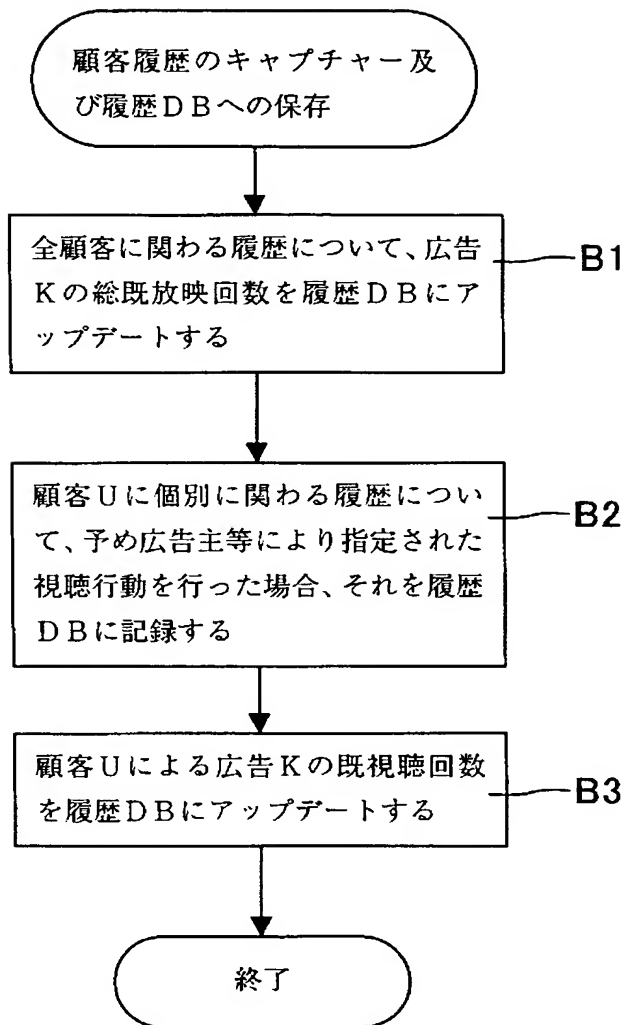
【図3】



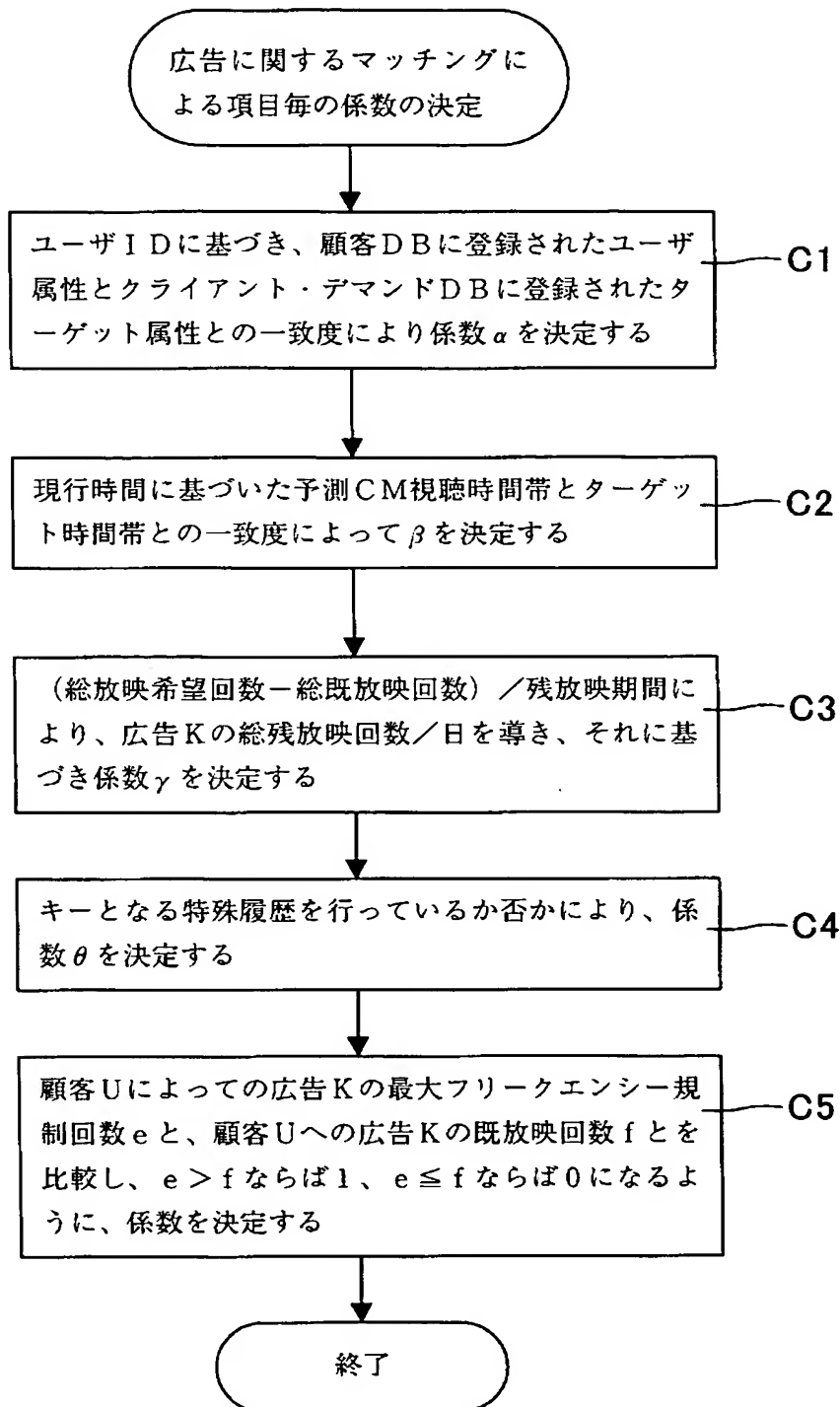
【図 4 a】



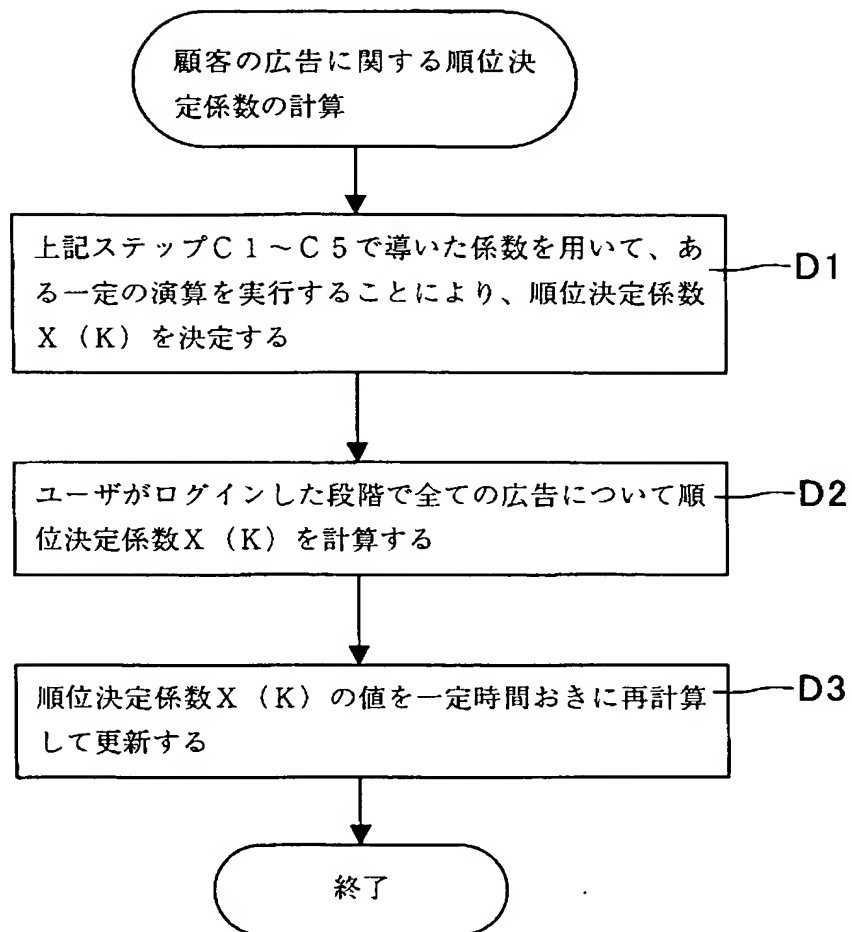
【図 4 b】



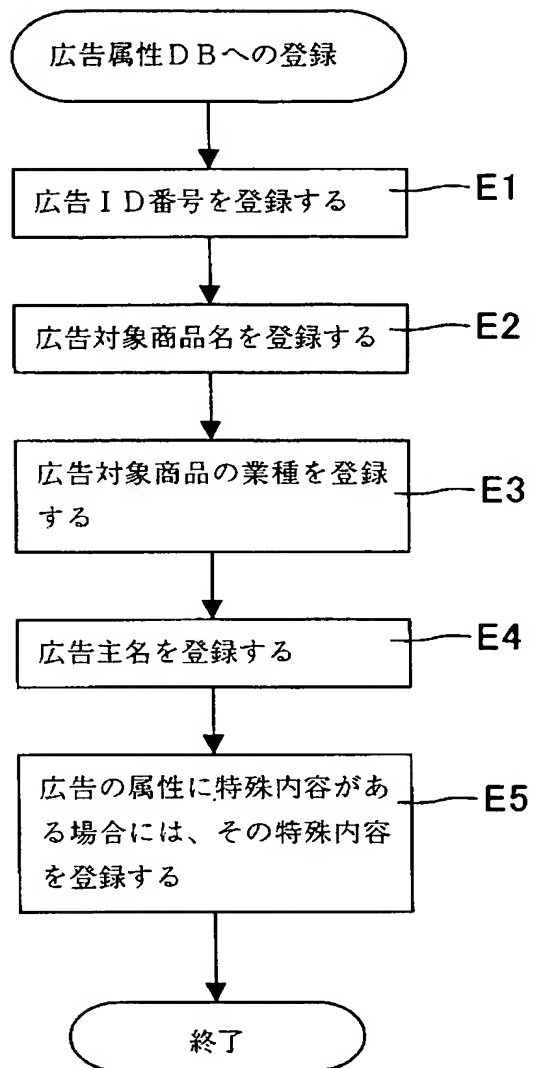
【図 4 c】



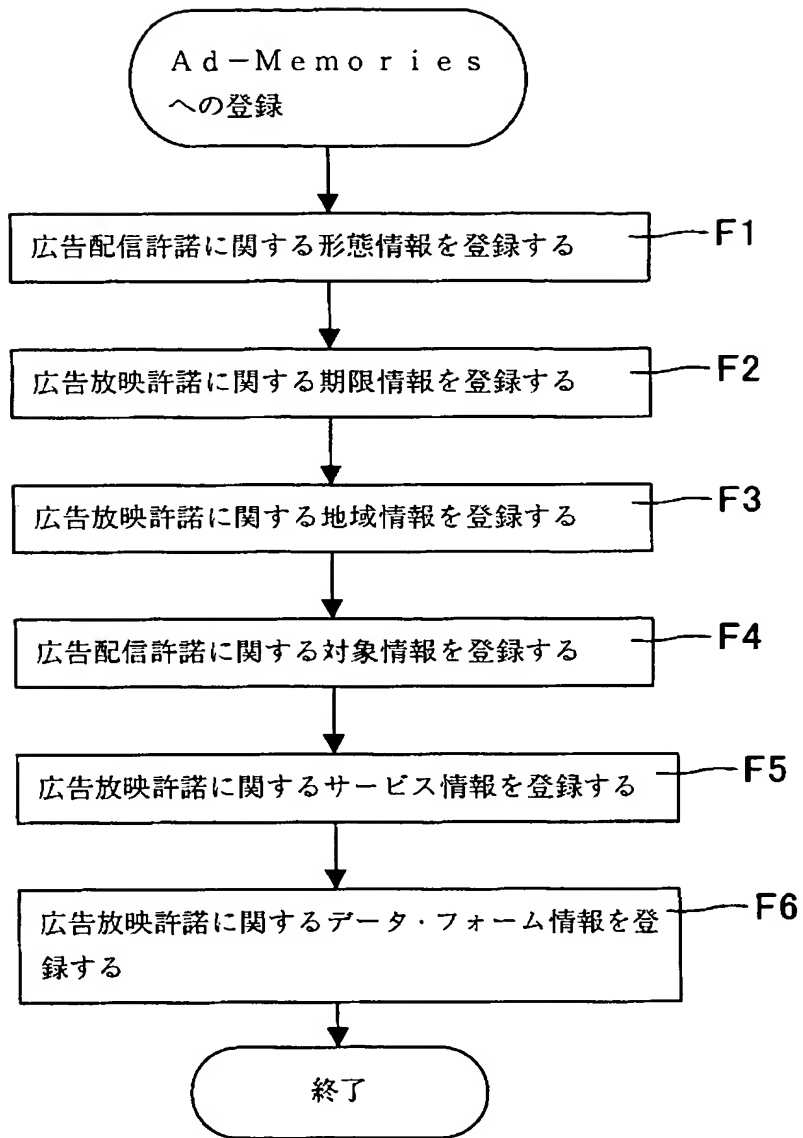
【図 4 d】



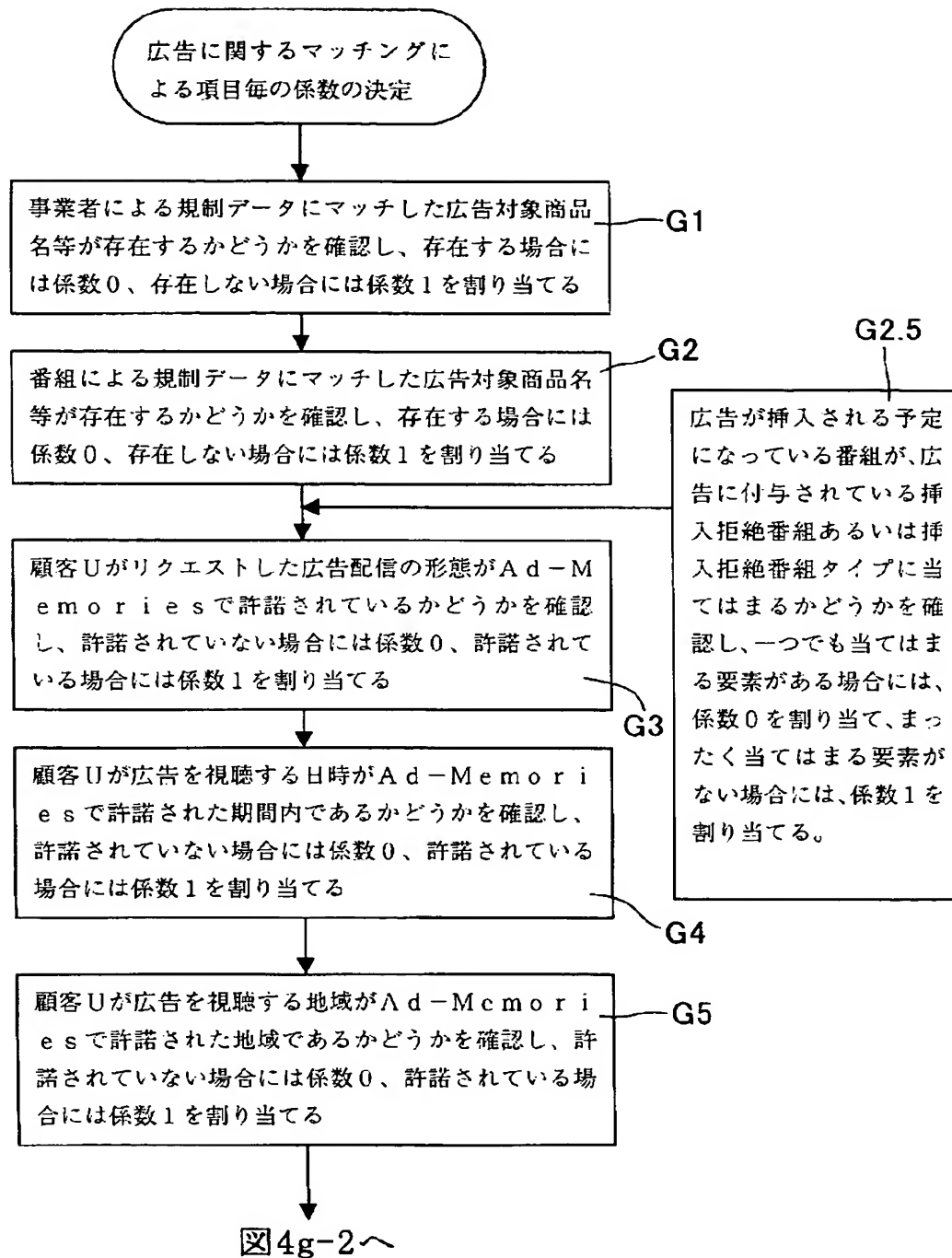
【図 4 e】



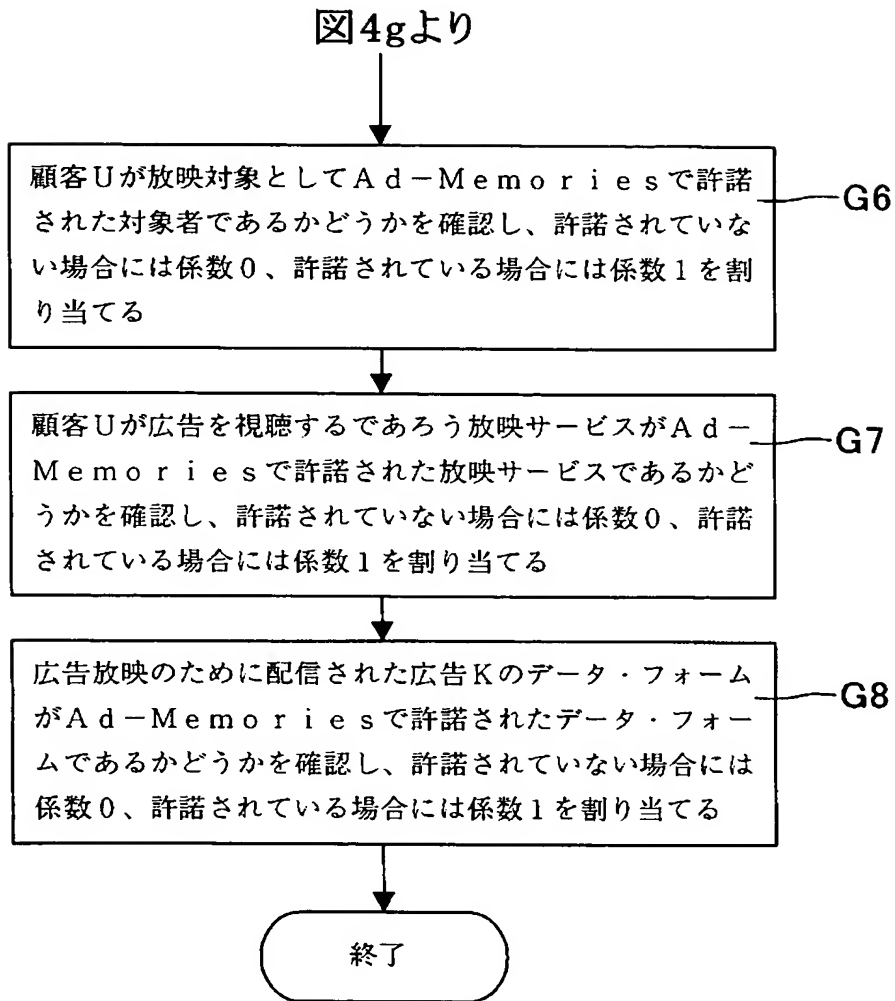
【図 4 f】



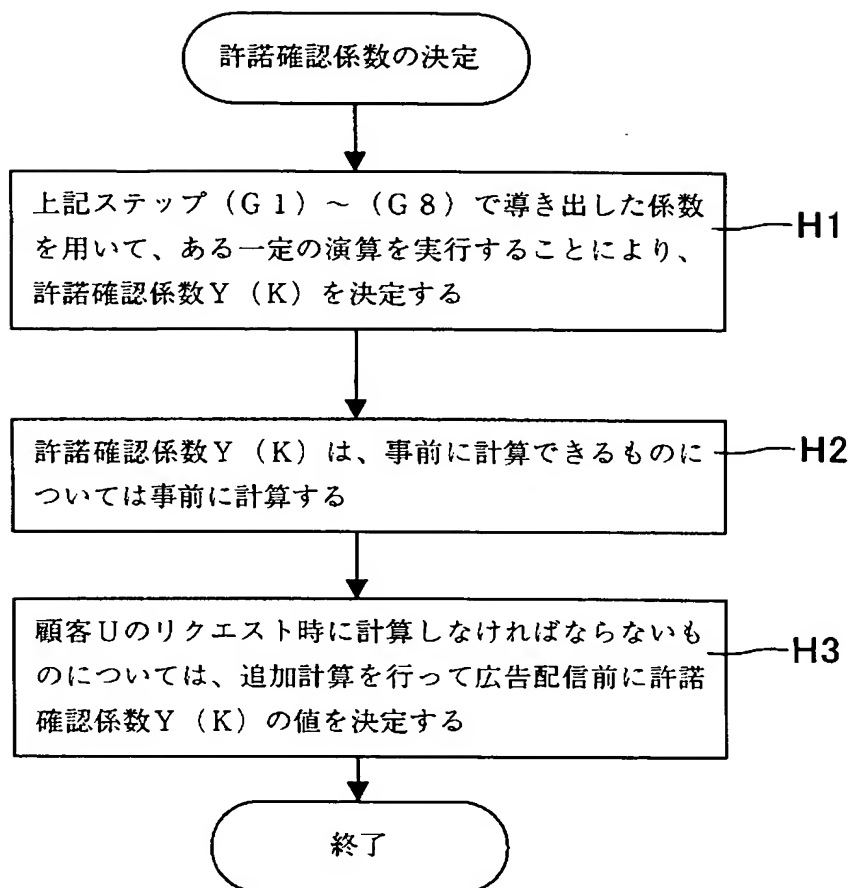
【図 4 g】



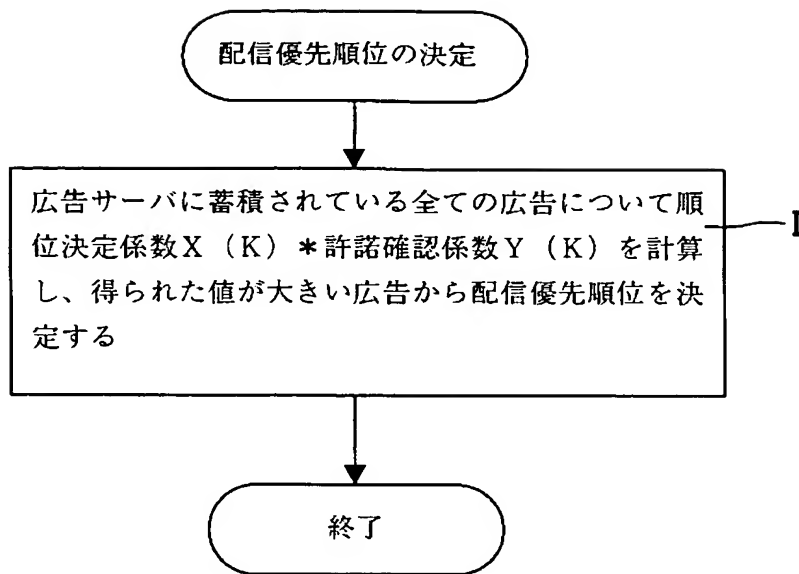
【図 4 g - 2】



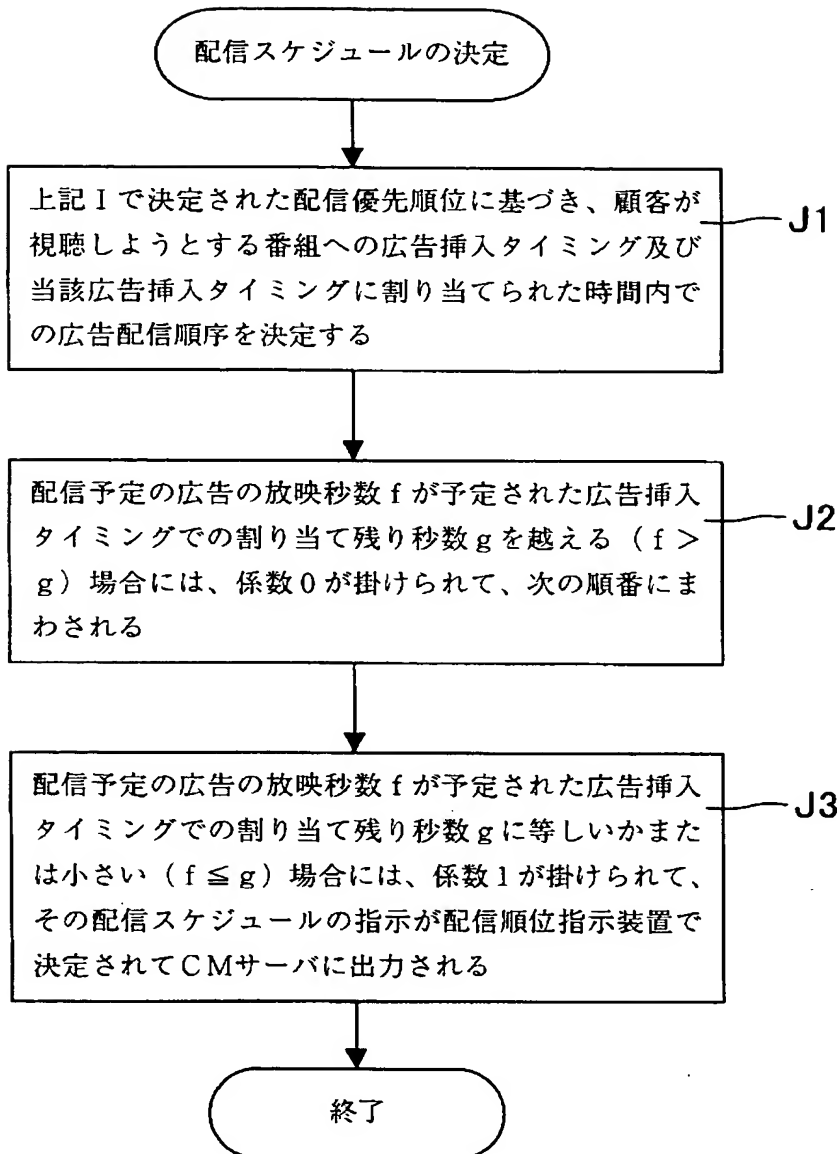
【図 4 h】



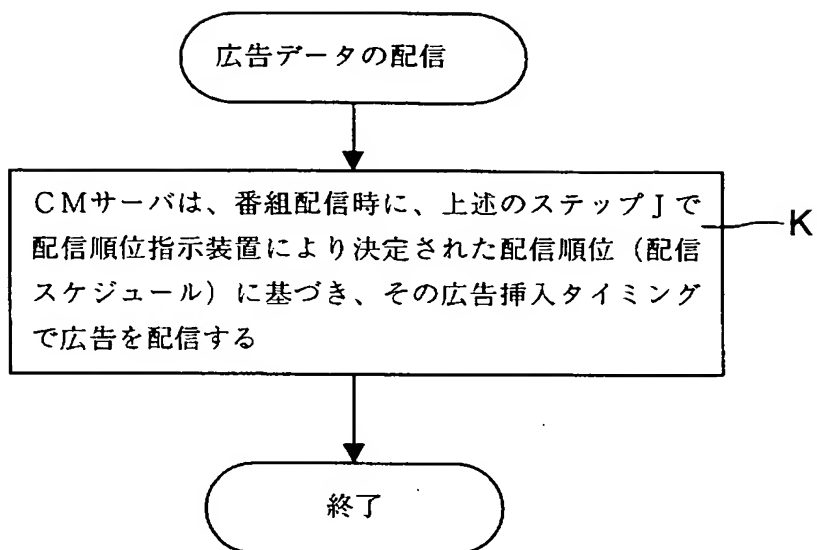
【図 4 i】



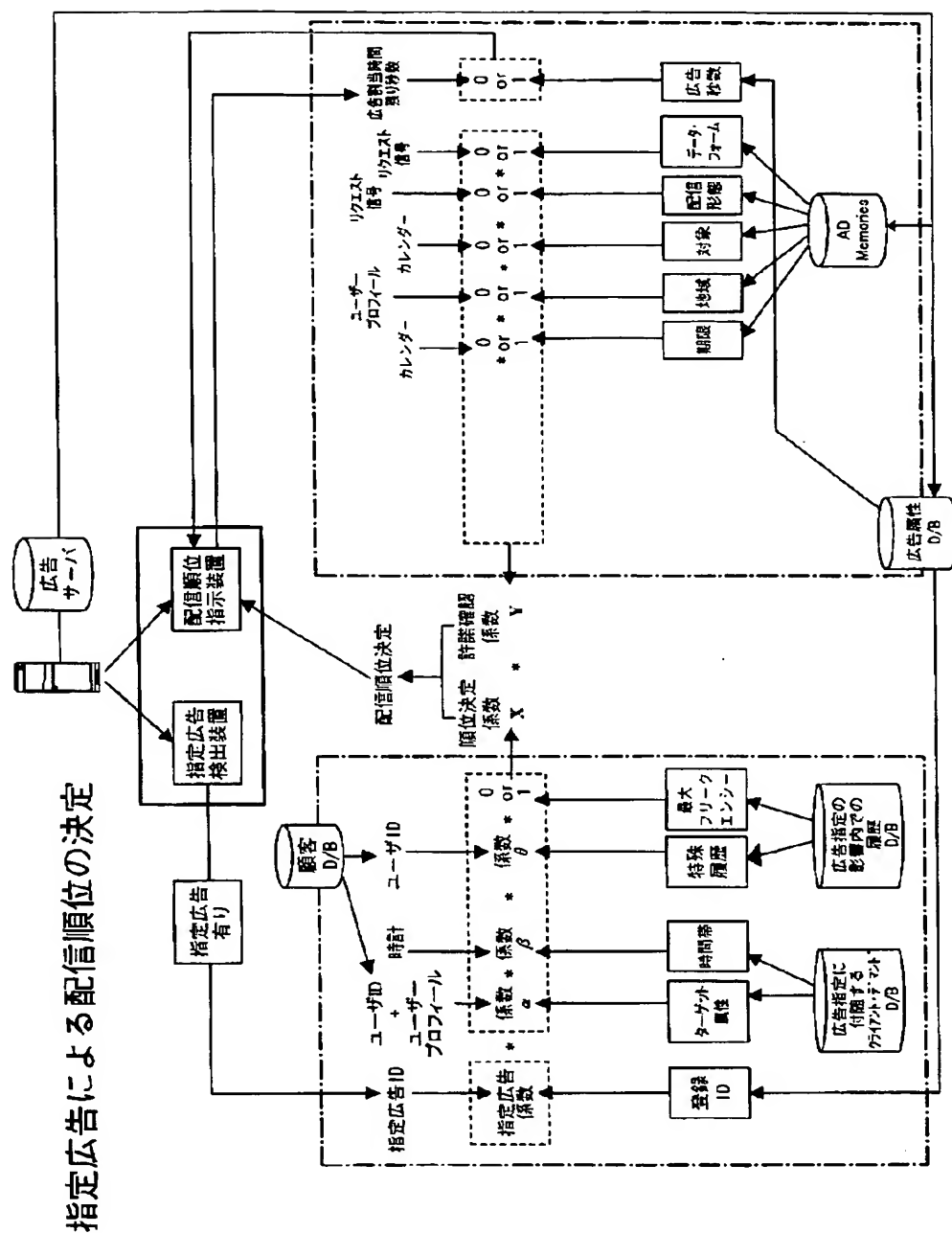
【図 4 j】



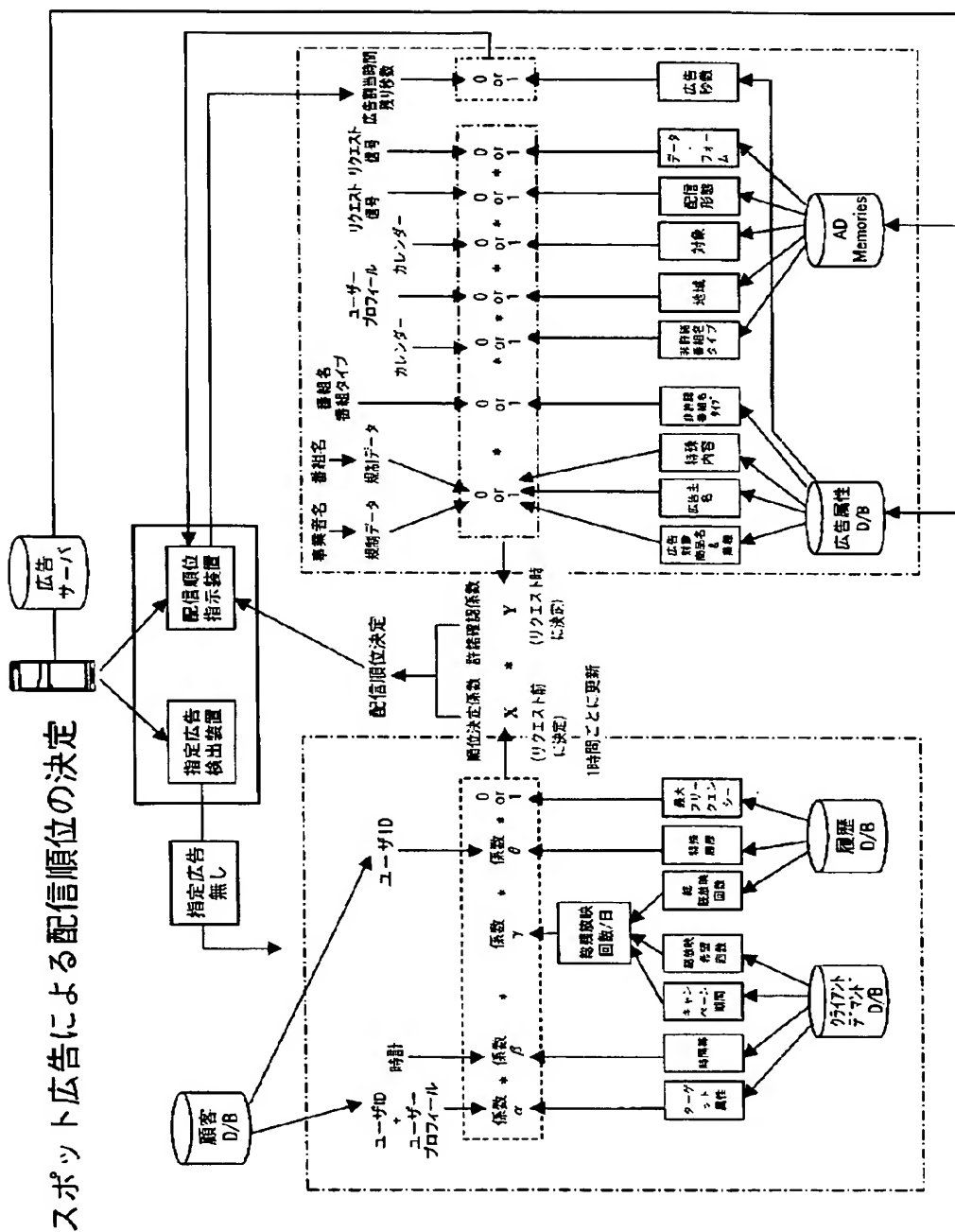
【図 4 k】



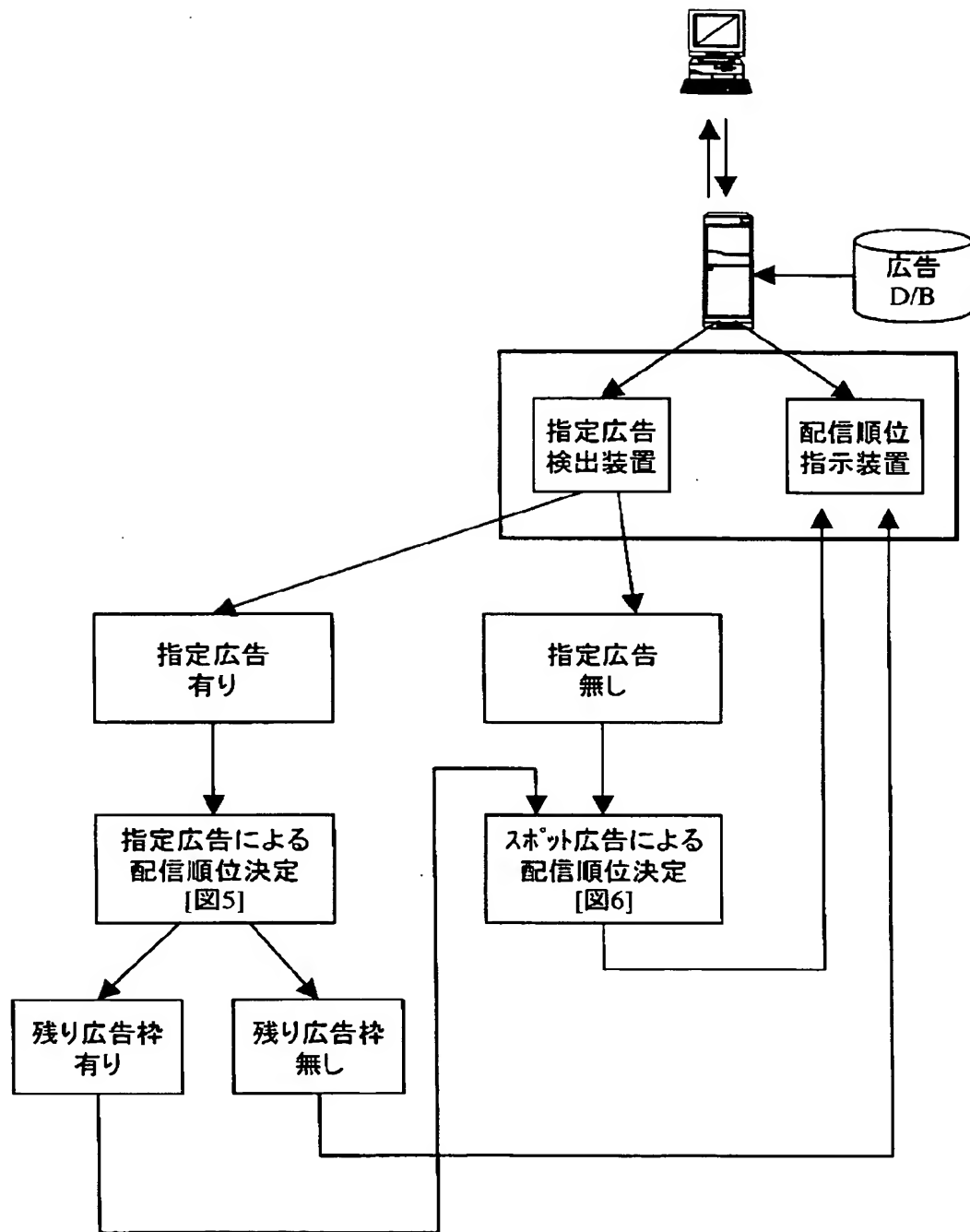
【図 5】



【図 6】



【図 7】



【書類名】 要約書

【要約】

【課題】 本発明は、視聴者が複数の広告配信管理システムを利用する場合でも、視聴者により選択された広告配信管理システムから視聴者毎に優先順位に応じた広告を配信することができる広告配信管理システムを提供する。

【解決手段】 本発明の上記課題は、選択された広告配信管理システムから視聴者毎に優先順位に応じた広告を配信する広告配信管理システムであって、視聴者に広告を配信する広告配信手段と、広告配信手段から優先順位に基づいて視聴者に配信される広告を管理する広告配信管理手段と、広告配信手段から配信される広告の広告デジタル・データを記憶する広告データベースとを備え、広告配信管理手段は、配信される広告に関連する事項を確認する広告確認手段と、広告データベースに記憶されている広告デジタル・データを変更／更新する広告デジタル・データ変更／更新手段とを含む広告配信管理システムによって達成される。

【選択図】 図 1

特願 2001-135112

出願人履歴情報

識別番号

[000151092]

1. 変更年月日

1990年 8月14日

[変更理由]

新規登録

住 所

東京都中央区築地1丁目11番10号

氏 名

株式会社電通

2. 変更年月日

2002年11月19日

[変更理由]

住所変更

住 所

東京都港区東新橋1丁目8番1号

氏 名

株式会社電通